

『認知症について』 No.1

【認知症って病気なの？】

人間は年を取ると体の様々な働きが衰えていきます。体力は低下し、物忘れが増えたりします。でも、認知症と年相応の物忘れとは別ものなのです。たとえば友人から本を貸してと言われてたけれど忘れていて、もう一度友人から言われて「ああ、そうだった！」と頼まれていることを覚えているのは健康な物忘れです。しかし、認知症では「友人から頼まれた」という出来事そのものを忘れてしまいます。これは病的な物忘れです。また、このような物忘れは、認知症の症状の一つに過ぎません。認知症は病気です。癌や糖尿病、肺炎などと同じように脳の病気です。体の具合が悪い時、病院に行き、お医者さんから病気なのかどうか、どういう病気なのかという診断を聞きます。認知症も同じなのです。

65 歳以上の人を高齢者と言いますが、その 6~7%の人が認知症です。年をとるにつれ、認知症になりやすくなるので、80 歳以上では、4~5 人に 1 人は認知症となるそうです。

【認知症って、どうしてなるの？】

年をとると顔にしわが増えたり、髪の毛に白髪が増えたり、いわゆる『老化』がおきてきます。脳も体の一部ですから、同じように老化がおきて、認知症になりやすくなります。

認知症は、脳の神経細胞が十分に働かなくなるために起こります。

- ① 原因は病気による脳の変化です。(例えば、脳の委縮、脳卒中、脳梗塞など)
- ② 記憶などの知的な働き(認知機能)が低下していく。
- ③ 日常生活や、仕事などの社会生活がうまく送れません。
- ④ 意識ははっきりしている。この 4 つの基準にあてはまると『認知症』と診断されます。

次回は、『認知症の種類』などについて掲載していきます。

「認知症」という言葉を知っている人は、それに対してどのようなイメージを持っていますか？認知症になると「何もできなくなる」「何もわからなくなる」という誤解が全くないわけではありません。悲しいことに、その誤解の為にご本人やご家族が苦しむことも起きています。高齢者が増えていくと、「認知症」はもっと身近な病気になっていくでしょう。これから皆様が「認知症」について少しでも関心を持ち、何かおかしいなと違和感を感じましたら、気軽にご相談下さい。

居宅介護支援部門



住み慣れた地域でその人がその人らしく生きられる共生社会を一緒に作ります

ふれあい

第 67 号

NPO法人 西三河在宅介護センター

立春を過ぎても寒さ厳しい日が続いていますが皆様、お元気でしょうか。

2017年、皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃より、西三河在宅介護センターの運営に対し、ご支援ご理解を賜り心より御礼申し上げます。

当施設は平成 12 年にスタートし今年で 17 年目となります。

地域の助け合いから始まり、介護を通して地域社会に貢献し、地域の方々に満足していただける介護サービスを目指してきました。

西三河在宅介護センターは、居宅支援介護、訪問介護、通所介護・予防通所介護(おひさま)、認知症対応型通所介護(ふる里)を中心に障害支援サービス、保険外サービス、移送サービスなどを行なっています。

2017年は介護業界にとってとても厳しい年となっていくことと思われませんが、安心出来るサービスの提供と地域の交流拠点を目指していく決意です。

新たな取り組みとして(ふる里)では、昨年より毎月第一日曜日に『コミュニティ・カフェふるさと』を開催しております。

認知症地域支援推進員やケアマネなどが常駐しており、日頃の生活の中での不安、介護のこと、認知症に対する悩みなどを気軽に相談していただくことができます。

ふる里カフェを始めて今年の 4 月で 2 年目となります。毎月、カフェの開催を楽しみにしていただいている方々も少しずつ増えてきました。この交流をきっかけに地域との密着を深めていき、認知症や介護への理解が深まり、この場所を身近に感じていただけると嬉しく思います。是非、皆様のお立ち寄りをお待ちしております。

これからも地域の皆様方のご期待と信頼に応えられるように努力してまいりますのでどうぞ宜しくお願い申し上げます。

鈴川紀朗



カフェふるさと

毎月第 1 日曜日 10:00~16:00 開催してます!

是非、お立ち寄り下さい♪

会費 200 円(飲み物、おやつ おかわり自由です)

4月より10:00~13:00に開催時間変更となります



◆◆◆研修会を行いました◆◆◆

1 月 20 日 美女の会の研修会として「高齢者の口腔ケアについて」を行いました。

口腔ケアでは研修後、ヘルパー同士で口腔ケアや口腔内マッサージの実習を実際に行いました。お互いに意見を交換しながら、口腔ケアをするときの力加減や口の中のケアした後のさっぱり感を体感することができました。

寝たきりや口腔ケアが必要な時に今日の研修を役立てていきたいです。

訪問介護部門



◆◆◆AEDが設置されました!◆◆◆

今年の1月より、スギ薬局様からのご寄附でおひさまへAEDが設置されました。

各スタッフ一同研修を行い、いざという時に迅速に対応を心掛けていきたいです。

おひさまのホールへ皆様を見守るよう設置してあります。

お立ち寄りの際には是非、一度ご確認ください。



インフルエンザが流行っています。手洗い、うがいをきちんとしましょう!



特定非営利活動法人

〒448-0821 刈谷市御幸町 3-78

西三河在宅介護センター(代表)…… 電話:0566-28-0500 FAX:0566-28-0542

E-mail: kzkaigo@katch.ne.jp

デイサービス「おひさま」…電話:0566-28-0563 「ふる里」…電話:0566-80-0285

訪問部門 …電話:0566-80-0588 居宅部門…電話:0566-55-3077

◆◇ おひさまニュース 行事報告 ◆◇

28.12 月

12月になると寒さもだんだんと厳しくなってきました。12月はエレクーン唱歌、舞歌の会、あぐちゃんとその仲間、かかし会、クリスマス会とイベント盛りだくさんで、皆様楽しんでいただけました。特に、クリスマス会での二人羽織はスタッフが全力で頑張ってくれたおかげで、おひさま内が活気であふれていました。次回の二人羽織も楽しみにしてくださいね!!



29.01 月



年が明け、今年もスタッフ、利用者様と元気に新年を迎えられ、笑顔でデイサービスに来所して頂けました。お天気の良い日に昨年のお礼と今年一年の健康をお願いする為、市原神社へ初詣に出掛けました。皆様、思い思いの願い事をされてみえました。

02 月

3日は節分なので、皆様、鬼のお面をつけ、無病息災を願いながら、鬼に扮したスタッフに豆を投げました。おやつには、おしるこを美味しくいただきました。
6日は、おひさま利用者の鈴木茂様が100歳のお誕生日で、ご家族も一緒に百寿のお祝いをしました。スタッフのギター演奏に合わせて皆様で歌い、スタッフの二人羽織で、笑顔がいっぱいで賑やかなお誕生日会となりました。いつまでもお元気でいてください♪
11日にはかかし会による歌や踊りを鑑賞し、楽しい時間を皆様過ごすことが出来ました。おやつは、美味しいおまんじゅう、手作り芋羊羹で、会話はずみ笑顔で召し上がっていました。

おめでと



◆◇ デイサービスふる里だより ◆◇

12 月



ふる里で100歳になられたご利用者様です。とても笑顔が素敵です。これからもお元気でふる里にお越しください!!

12月といえば毎年恒例の元刈谷芸能発表会です!今年もご利用者様とスタッフで参加できました!!「荒城の月」の演舞です。一緒に参加していただき、ありがとうございました。



クリスマス会では近隣の保育園から可愛いちびっこちゃんが来所。また、ボランティアさんも来てくださって、賑やかで楽しいクリスマスウィークが過ごせました。



1 月

新しい年を迎えました!今年も皆さんお元気で楽しく過ごせますように...!!



皆さんと初詣。しっかりと新年のお願いをしてきました。やっぱり、自然と手を合わせて頭を下げて...と皆で揃って出来ました。

お正月らしく、カルタ取り!皆さん真剣に楽しんで、されてました。



2 月



節分の豆まきです。鬼役の理事長や男性スタッフが入ってくると、皆でエイツと新聞紙を丸めた大きな豆をぶつけてみえました。また、GHあじさいさんにも招かれて一緒に豆まきしてきました。

